

# 第19回日本マングローブ学会平成25年度大会プログラム

平成25年12月14日(土) グリーンアカデミーホール (3階ホール)

- 9:00 受付開始
- 9:30- 9:50 カンボジア、ココン州のいくつかのマングローブ林の構造  
田淵隆一(森林総合研究所)
- 9:50-10:10 高精度ヘリレーザ計測システムSAKURAを用いたマングローブ林特性の再現性検証調査  
—微地形と植生の判断基準に着目して—  
真壁さくら(東北学院大学)
- 10:10-10:30 ミクロネシア連邦ポンペイ島における急激な海面上昇がマングローブ生態系へ  
及ぼしつつある影響について  
新貝陽香(南山大学)
- 10:30-10:50 マングローブ根圏には特異的な窒素固定バクテリアが存在するか？  
—反応の温度依存性から考察する—  
井上智美(国立環境研究所)
- 10:50-11:10 国際マングローブ生態系協会のこれまでの活動とこれから  
馬場繁幸(国際マングローブ生態系協会)

11:10-12:00

昼 食

日本マングローブ学会役員会 (2階会議室) 11:10-11:50

- 12:00-12:20 西表島マングローブ植物4種の生育域と葉の内部構造との相関  
早津学(神奈川大学)
- 12:20-12:40 マングローブ林修復に関わる新作物：エーヤワディーデルタの海胡麻  
大野勝弘(横浜国立大学)
- 12:40-13:00 ベトナム南部ホーチミン市周辺におけるマングローブ分布域と人の生活域のかさなりと  
つながり —水路と集落の距離性・水環境利用から—  
大友萌子(東北学院大学)
- 13:00-13:20 分布北限域に生育するヒルギダマシ(*Avicennia marina*)の生育環境と実生の定着(1)  
5年間の追跡調査から  
持田幸良(横浜国立大学)
- 13:20-13:40 メヒルギの葉周辺の水が葉内水ポテンシャルに及ぼす影響  
山口由夏子(大阪府立大学)
- 13:40-14:00 西表島に現存するニツパヤシ全株の網羅的遺伝解析  
須貝杏子(琉球大学)

14:10-15:50

公開特別講演 (3階ホール)

マングローブ・熱帯・植物 岩槻邦男(東京大学名誉教授)

司会 鈴木邦雄(横浜国立大学)

16:00-16:30

総 会 (3階ホール)

16:40-18:40

懇 親 会 (1階食堂)